

ヤオコーの長期ビジョンと実現に向けて

ヤオコーグループは、価値創造の方向性を示すものとして、長期ビジョンの目指す姿と具体的な数値目標として「500店舗売上高1兆円の企業」を掲げています。そして、中期3ヶ年計画を通して、長期ビジョンの達成に向けて着実に歩みを進めています。



更なる成長と
独自性を確立

長期ビジョン

「豊かで楽しい食生活を提案するグループとして、圧倒的なNo.1になること」

長期目標
500 店舗
1 兆円
売上高

長期ビジョン

目指す姿

「豊かで楽しい食生活」を提案するグループとして、
圧倒的なNo.1になること

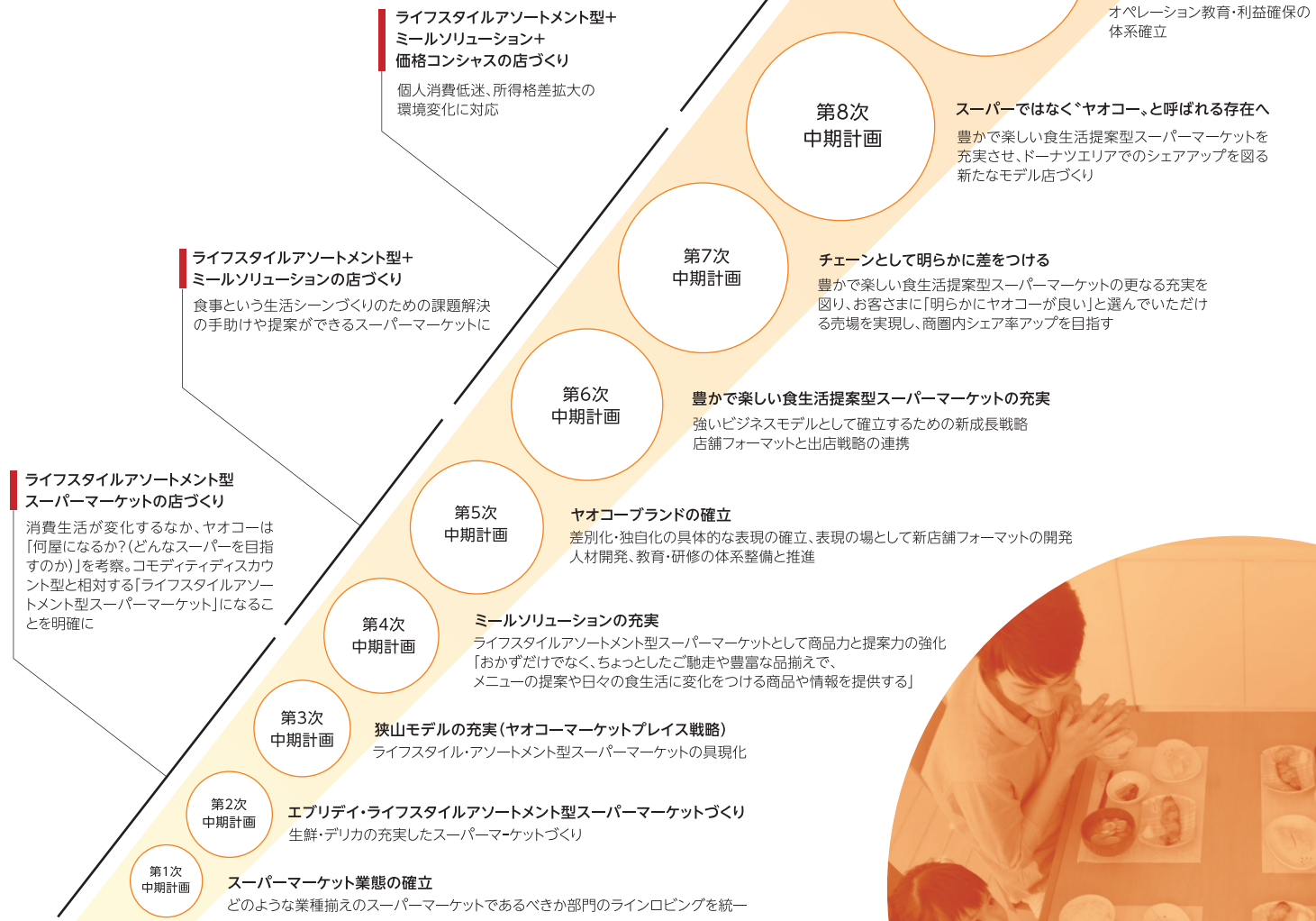
地域密着、地域になくてはならない存在になること
多様化するお客さまのニーズにお応えできるグループになること
一人ひとりが成長し、働く喜びを感じられる集団になること

目標

「500店舗売上高1兆円の企業」と
「多くの幸せ(八百幸)をお届けする企業」の実現

ヤオコーグループがあることで、地域の食生活レベルが向上し、地域の人々が健康で幸せな生活を送ることができる、地域の人々がつながり、文化が育まれ、地域になくてはならない、そんなお店をつくります。屋号の八百幸の様に多く(八百)の幸せを皆さまにお届けしたいと思っています。

取組みの変遷と 中期経営計画のテーマ



長期ビジョン実現に向けた事業環境認識

ヤオコーグループの経営理念実現のため、長期ビジョンを掲げています。実現のためには、外部環境の変化をスピード感を持って認識し、短期かつ長期的な視点で課題に対応していく必要があります。そして、経営戦略であるとともに社会的課題の解決策であることが、ヤオコーグループが社会のお役にたつことができ、社会から必要とされる企業であり続けることができると考えています。

社会環境の変化	少子高齢化	国内財政悪化	労働力不足	都市部への人口集中	EC・AIの台頭	気候変動・資源枯渇
ヤオコーの重要課題	高齢化対応 健康意識	消費の2極化	生産性向上 ダイバーシティ IT・機械化	都市部出店	IT・機械化	環境保護 災害対応 持続可能な調達
重要課題に対応する機会リスク	個(孤)食対応 コミュニティの創出 商品開発 健康対応 時短対応	価格対応 商品開発 貧困問題	IT・機械化 女性活躍 外国人採用 人権問題	都市型店開発 時短対応	IT・機械化 リアルの魅力強化 コミュニティの創出	省エネルギー対応 食品ロス対応 容器包装3R対応 BCP 持続可能な調達 取引慣行 人権問題